

寺報 善巧

発行

☎ 938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール info@zengyou.net
URL http://www.zengyou.net

賀正

寺
こよみ

一月

一日 修正会

三日 日校かるた会

一日 御正忌米とき

一二日 御正忌準備

御正忌

一三日 一時 お逮夜

一四日 一時 お逮夜

一五日 十一時

下村お講

一時 お逮夜

七時 お初夜

一六日 十一時

浦山・板屋・
熊野・大橋お講

一時 満座

講師 高務哲量師



仏教には縁起の教えが

あります。縁起とは、

「すべてものは単独で存

在しているのではなく、

他のものが原因になり条

件になって成り立っている

」ということなのです。こ

れを、一言であらわすと

「すべては繋がっている

」ということでしょう。た

だ、実際にはその繋がりが

がとても見えにくい時

代です。

核家族化が進み、

「家を守る」という考

え方が薄れ、また、物

質主義の行き過ぎから、

あらゆるものがお金に

換算される世の中で、

「もったいない」や

「おかげさま」という心

が育ちにくくなっていま

す。「もったいない」と

は、すべてのものは「頂

き物」であるという受け

取り方から生まれた言葉

で、そこに「おかげさま

」という感謝の心を育んで

こられた先人の方たちが

みんな繋がっている

たくさんおられました。

今は人も人の心さえもお

金で解決出来るような錯

覚に陥り、「おかげさま

より「お金さま」。ない

ものは渴望か絶望、ある

ものは貪りと驕り。他で

もない自分のことです。

お経にはこんな言葉も

あります。

「人は激しい欲望の中

で、独り生まれ独り死

し、独り去り独り来る。」

なんとも寒々しい言葉

ですが、これを踏まえ

た上で、縁起の教えを

味わってみると、希望

が見えてきます。

人と人の繋がりが。

いのちのいのちの繋がりが

を教わる時に、人は初め

て本当のいのちを見つめ

ることが出来るのかもし

れません。

まずは、近しいご縁か

らしつかりと見つめ直し

ていきたいです。

善巧寺住職

雪山 俊隆

愚禿の名のり 最終回

行信教校講師 天岸浄圓師

学僧の見た法然聖人像

親鸞聖人の得度の師匠だった慈圓僧正が、『愚管抄』という書物をのこされています。そのなかに法然聖人のことが書かれているのですが、そこには「法然は念仏宗という宗を立て、専修念仏といつて、ただ南無阿弥陀仏と称えるだけで、いかなる者も往生させていただけ。その外には天台宗や真言宗の修行は必要ないといつて、考えられない程の愚かで、無智の人々によるこぼれ、この教えがたいへん繁昌して、世間に広まった」と、当

法然聖人のスタート点

このような考え方に對して、法然聖人はそれこそ恵まれた者の持つ、傲慢な自己満足であると見抜かれたのです。だから慈圓僧正の指摘に對しても、法然聖人自身だったから「その通りだ、しかし、そこにこそ仏教の本意があるのでは」と、おっしゃったと思いますね。

時の状況を伝えています。これが当時の仏教界のトップの学僧に映った法然聖人像なのです。原文では「不可思議の愚痴、無智の凡入道によるこぼれて」と書かれているのですよね。法然は仏教の右も左もわからない、「ど素人」にうけているだけに過ぎないと指摘したのです。慈圓からすれば、そんな者たちが仏教と関わりを持てるはずはない。学問ができ、能力があり、恵まれた境遇の者でなければ、仏教は身につかないということですよ。

だったのです。

承元の法難

専修念仏という、善悪賢愚、男女、老少、道俗、貴賤を隔てない、今まで聞いたことのない仏教がひろまるのですね。そして、今まで考えられないほどの多くの人々の間に仏教がひろまってゆきます。現代の感覚では考えにくいことなのですが、当時の僧侶や、お公家さん、政治家にとっては、非常に不気味な状況であつたはずですよ。「平等」なんて発想のなかった時代なのですから。

だから、何かの機会に叩いておきたかったのです。でも、ナカナカ機会に恵まれない。そうこうしているうちに、恰好の機会がめぐってきました。政治家たちの不安が的中したといつてもよいかもしれません。いわゆるスキヤンダルが院の御所

「非僧非俗」の名のり

で起こったのです。そのスキヤンダルを利用して、弾圧を断行するわけです。そして、先ほど申しましたように、法然聖人、親鸞聖人をはじめ、八人を流罪にします。それから住蓮房、安樂房、性願房、西意善綽房の四人を死罪に処し、首を刎ねます。そして、専修念仏の布教が禁止になります。法然聖人は土佐へ、親鸞聖人は越後へ流罪になります。承元元年（一二〇七）二月のことでしたから、その年号を用いて、「承元の法難」とよんでいます。

この年の一月に後鳥羽上皇による専修念仏禁制の院宣が下り、刑が執行されてゆくわけです。

この弾圧を機会に親鸞聖人は「非僧非俗 愚禿親鸞」と名のられるようになるのです。「非僧非

俗」と書きますが、内容を理解できますか。僧とは出家のことで、俗とは在家の人のことを言います。ですから「僧に非ず」ならば俗人ですし、「俗に非ず」ならば僧しかないのです。仏教の世界には「僧」と「俗」しかないのですから。そのどちらでもない、だったら何なのか？ 親鸞聖人はむしろかしいことをおっしゃるんです。

「僧に非ず」とは、国家の弾圧によって僧籍を剥奪されて、僧としての恩典もなくなり、本来ならば法衣も許されないのです。ですから、俗人というべきなんです。しかし、親鸞聖人は法衣をとらず「俗に非ず」と主張されます。それは国から僧籍を剥奪されても、単に世俗の価値観に生きる者でない立場を鮮明にされたことです。

ここに、従来の僧俗の考え方を超えて、仏祖の

み言葉に生きようとされる、聖人の真仏弟子の境地がみごとに表されていると言えます。

「愚禿」の抛り所

でも、この流罪を契機にして、法然聖人は老いてゆかれ、結局は不当な弾圧に対して、ご自分の教えの真实性を反駁できないままに往生になられました。そうすると、お弟子として一番の仕事は、師匠の名誉回復でした。浄土の教えは真実であって、むしろ、弾圧した方が誤っていることを証明する。それがお弟子としての一番のご恩報謝だったのでしょうか。

お師匠さまを流罪にし、兄弟弟子を惨殺し、また流罪にした。そして、何よりも、あらゆる人々に開かれた仏道をむしり取った仏教者たちと、それをバックアップした政府の過ちを指弾してゆく。そ

れが親鸞聖人をはじめとした、お弟子の役目だったのです。

では、そんなときに、なぜ「愚禿」「愚か」なんでしょうか。「禿」という字は「はげ」という字ですが、お坊さんが「かたがばかりの僧侶です」と、自分を謙遜したときに用いる言葉なのです。

そんな意味で考えますと、親鸞聖人は最初は比叡山に登って学問僧として出発し、やがて比叡山を下って法然聖人の易行念仏へ、そして結婚、さらに流罪、で最後は、「愚禿」と名のられるのです。この人どういう人？ ところが「愚禿」の語には、抛り所があったのです。それは比叡山を開かれた、伝教大師最澄の「入山願文」といわれるもののなのです。そこに伝教大師は自らを「愚中の極愚、狂中の極狂、塵禿、底下の最澄」と名のられる

ていたのです。ですから、天台宗にあっても開祖伝教大師の志を知るほどの人ならば、「愚禿」の名のりにこめた親鸞聖人の深いところを知ることができるはずだったのです。私たちは本当に自らを「愚か」と認めることはなかなかできません。たいていは自分は「賢く」「愚か」は他人なのです。その自分を真に「愚か」と言えることは、自分を超えて「愚か」と気づかせてくださる、「真実」に遇うことができた者のみが言いうる言葉だったのです。その意味で「愚禿」の名のりは、これから「顕真実」を担われてゆく、親鸞聖人にふさわしい名のりであったのです。

(終り)

仏教婦人会総会

十二月十六日

年も押し詰まった十六日、浦山のしまいお講が勤まった後、本堂で仏教婦総会が開催されました。現役員から平成十八、十九年度の事業報告会計報告があり、監査報告を終えて、すべて承認されました。

次年度の新役員は音沢が当番ですが紹介できませんでした。

下村、栗虫の皆さん二年間お世話をかけました。有り難うございました。



報恩講

十月十九・二十日

何百年続いているので
 しょうか。善巧寺の報恩
 講は例年通り十月十九、
 二十日の両日、講内の法
 中方出勤のもと無事お勤
 まりになりました。ご講

師は若栗発願寺住
 職川崎順正師。柔
 和なお顔でやさし
 くお取り次ぎ下さ
 いました。両日と
 も教化部と仏婦に



司会者
 本満国昭さん

よるお寺クイズが行われ
 「ありや一問だけまちがっ
 た」と悔しそうな顔を尻
 目に、下立愛本の川原善
 吉さんが
 全問正解
 住職から
 賞品を手
 渡されま
 した。



野畑みのり・大薮実子・大薮節子さん



ご講師川崎順上師の絵解き



お寺クイズ全問正解は？



総代四十年勤続表彰の森岡昭二さん



多勢の方の奉仕できれいになりました



お華束づくりのベテラン方

空華忌

十一月四・五日

空華忌は善巧寺の門をくぐった左側にあるお墓、十一世僧鎔さまのご法事です。今年は行信教校講

師の藤沢信照師をお招きし、お浄土についてお話頂きました。円熟味を加えられた先生のわかりやすいご法話に、みなさん楽しそうに聞き入っていました。



藤沢先生を囲んで



弘 雄介



二階堂和美



レイ・ハラカミ

お寺座ライブ

十月七日

お寺は文化の発信地を合い言葉にはじまったお寺の音楽会「お寺座ライブ」

「ブ」の第二回。豪華なゲスト陣のステキな音楽と、お寺ならではの一口法話やおつとめに、二百人以上の若者が参加してくれました。



おまけびとの演奏を聞く満堂の聴衆

ご門徒紹介

野崎 和子さん

(愛本新)

七月の永代祠堂会の期間、門徒会館で「パッチワークキルト展」が開かれました。代表の野崎和子さんとそのお仲間、野崎さんの師にあたる比川先生の作品など三十数点が出品され、こまやかな心遣いと高度な技が感じられる、素晴らしいものでした。

以下、代表の野崎和子

さんからお聞きしたことを紹介します。

「パッチワーク」は、もとは北アメリカに端を発したもので、貧しい人々が娘の結婚を祝うのに、思い出のある布きれを繋ぎ合わせて、ベッドカバーを作った贈りました。使った古いた布を繋いで何か別のものを作るといふのなら、日本にも昔からパッチワークはありまして、米を入れる包みやお坊様の袈裟などです。

私は古い家に住んでいて、蔵には古布も沢山あります。製作は大変ですが、出来上がったものは心を和ませ癒やしてくれ、蔵の整理にもなり先祖も喜んでくれるように思っています。

今回の展示は、永代祠堂会と住職ご結婚の二重の慶びが心に染みまして、お引き受けしました。また、パッチワークキルトがお好きだった先代住職様が欲しいと仰っていた私の作品を展示できたこ



とで、頭を撫でていただいているような気がしています。

これまでの作品に加え、新たに孫娘のためにベツドカバーを作りました。洋服、パジャマ、クリスマス飾りなど幼い頃からものを用い、色とりどりの法輪を繋ぎました。また、明るく華やかな展示会にしたくて皆さんにも出品してもらいました。

自宅では比川先生の後を継いでお茶代三百円で毎週開放して、遊び心で教えています。世間への恩返しといったところでしようか。これからもボランティアの気持ちで続けていきたいと思っています。

寺 二 月

一日 浦山お講

二日 生地報恩講

三日 荻生植木報恩講

四日 下立お講

六日 舟見報恩講

九日 入善報恩講

二二日 熊野報恩講

二七日 析屋報恩講

二八日

寺 三 月

一日 浦山お講

四日 三日市報恩講

七日 仏婦連盟組總會

八日 下立報恩講

一二日 浦山報恩講

一四日 析沢お講

一六日 浦山報恩講

一七日 雪ん子春の公演

一九日

御正忌

親鸞聖人のご命日に
行われる厳肅な法要

一月十三日 午後一時 お逮夜

法話：転法輪正視師

十四日 午後一時 お逮夜

十五日 午前十一時 お講

午後一時 お逮夜

午後七時 お初夜

十六日 午前十一時 お講

午後一時 ご満座

高務 哲量 師（福井）



釈の日

ご縁があつてご本山から仏弟子としての名「法名」を受式された方、その後、法名を意識することはあります。か？仏弟子としての大切な名前です。それを再認識していただくために、御正忌中の二日目（十四日）を「釈の日」として法要をとめます。ご案内はここ十年の間に法名をいただかれた方へお送りしますが、それ以前に法名を授かった方もどうぞお参りください。

日曜学校 かるた大会

一月三日午前十時

御正忌準備

一月十二日午前八時半

雪ん子劇団 卒業公演

三月二十三日（日）

午後四時

『桃次郎の冒険』他

御正忌ろうそく代

分です。お参りできない方はどなたかに託してください。御正忌報恩講が無事に勤まりますようよろしく願いいたします。



成人祝いは 是非お寺へ！

一月十三日

成人式の日、感謝の心をあらわし仏さまに手を合わせましょう。

ホールでの式後に、記念品を用意してお待ちしております。



合 掌

善巧寺の昨年一番のニュースは住職の結婚でしょうか。楽しい若い二人を見ているのは何ともほほえましく嬉しいものです。一方副住職は思い通りにならないことばかり。二人から人の世の有り様をつくづく見せてもらっています。

* * *

武生の林久寺住職転法輪正真師が九月七日還浄なさいました。享年五十七才。長年老人ホームでの仕事も兼任されてお寺一番の働き手でした。新米主婦の有花をどれだけ助けてくださったことか。晩年は孫を相手に幸せを満喫なさっていたようです。

